

2022年6月19日(日)

日本キリスト教団 ^{きゅうほうきょうかい}久宝教会
第65巻第10号(通算3292号)
教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう
週報

教会標語

^{かみさま}神様がすべての人^{ひと}と共^{とも}におられる
ことを証^{あかし}ししていく教会^{きょうかい}



ホームページ「久宝教会」
(ウェブサイト)

<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>
【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

この「確かさ」は当て外れということがありません。私たちが頂いている聖霊の働きによって、人を大切にする神の思いが、すでに私たちの心に注がれているからです。(ローマ 5:5)

せいれいこうりんせつ だい しゅじつれいはい
聖霊降臨節 第3主日礼拝

《^{れいはい}礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでも
ご視聴いただけますので、それぞれの場所^{ばしょ}で共^{とも}に礼拝をしていただけます》

前奏(黙禱) AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)

招きの詞 詩編 43編 3-4節

賛美歌 21-171番「かみさまのあいは」(©あかし書房)

聖書 列王記 上 19章 8-15節

お祈り

賛美歌 21-497番「この世のつとめ」(©JASRAC)

メッセージ 「ここで何をしているのか」 岡嶋 千宙 伝道師

賛美歌 21-420番「女と男と知性と愛と」(©JASRAC)

主の祈り 21-62番「天にいます 私たちの父」(©教団讚美歌改訂委員会)

献げ物 (*)

派遣 21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ) (©JASRAC)

祝福 岡嶋 千宙 伝道師

後奏 アーメン コーラス (21-40-6番) (©著作権消滅)

報告 (4頁をご参照ください)

《お隣と間隔をあけて、席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

* 「献げ物(献金)」は参加費ではございません。

受付に献金箱がございます。ご用意のある方のみ、お献げください。

招きの詞 詩編 43 編 3-4 節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

3 あなたの光とまことを遣わしてください。

それらは私を導き

聖なる山、あなたの住まいに伴ってくれるでしょう。

4 私は神の祭壇へと

a わが喜びなる神へと近づき

琴を奏でて、あなたをたたえます。

神よ、わが神よ。

(脚注 a: 直訳「わが歓喜の喜びなる」)



聖書 列王記 上 19 章 8-15 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

8 エリヤは起きて食べ、そして飲んだ。その食べ物で力をつけた彼は、四十日四十夜歩き続け、神の山ホレブに着いた。

9 エリヤは、そこにあった洞穴に入り、夜をそこで過ごした。すると主の言葉が臨んで、「エリヤよ、あなたはここで何をしているのか」と言われた。10 エリヤは答えた。「私は万軍の神、主に非常に熱心に仕えてきました。ところが、イスラエルの人々はあなたとの契約を捨て、祭壇を壊し、預言者たちを剣にかけて殺しました。ただ私だけが一人残ったのですが、彼らはこの私の命までも取ろうと狙っているのです。」11 主は言われた。「出て来て、この山中で主の前に立ちなさい。」主が通り過ぎて行かれると、主の前で非常に激しい風が山を裂き、岩を砕いた。しかし、その風の中に主はおられなかった。風の後地震があった。しかし、その地震の中に主はおられなかった。12 地震の後に火があった。しかし、その火の中に主はおられなかった。火の後に、かすかにささやく声があった。13 それを聞くとエリヤは外套で顔を覆い、出て来て、洞穴の入り口に立った。すると声があった。「エリヤよ、あなたはここで何をしているのか。」14 エリヤは答えた。「私は万軍の神、主に非常に熱心に仕えてきました。ところが、イスラエルの人々はあなたとの契約を捨て、祭壇を壊し、預言者たちを剣にかけて殺しました。ただ私だけが一人残ったのですが、彼らはこの私の命までも取ろうと狙っているのです。」

15 主はエリヤに言われた。「来た道を引き返し、ダマスコの荒れ野に向かいなさい。そこに着いたら、ハザエルに油を注いで彼をアラムの王としなさい。

《先週のメッセージより》 2022年6月12日花の日こどもの日・教会創立記念礼拝
「命と平和を求めて」

牛田匡牧師

聖書 ローマの信徒への手紙 8章1-17節

今回の聖書では、「肉」と「霊」という人間の二つの側面について述べられています。「肉」とは「肉体」のことで、五感で感じられる「感覚」のことです。私たちはそれによって食べたり、寝たりして暮らしているわけですが、その肉体はいずれ来る「死」を避けることは出来ません。またいわゆるモノやカネが増えることを求め続けるような経済至上主義の行く先も、地球環境や資源を食い尽くす「死」に至ります。しかし、私たちにはそのような「肉」だけではなく、神様からの「霊」も与えられています。その「霊」とは、イエス・キリストを十字架での死から引き起こされた神の霊であり(11)、私たちをキリストと共に生きさせてくれる(13)ものです。そして「肉の思いは死であり、霊の思いは命と平和です」(6)とある通り、私たちは自分自身の中に与えられており、また命と一体のものとして、その中に生かされている所の「神の霊」、「キリストの心」に自分自身を合わせていくことで、死に向かって進むのではなく、命と平和に向かう方向へと向かって行くことが出来るのです。

神の霊、神の力はどこに働くのか。それは誰の目から見ても明らかなような大きい所、ヒトとカネとモノがたくさん集まるような明るい所ではなく、むしろ人々から見向きもされない、埋もれた宝、取るに足らない小さな土の器、暗がりの中なのではないでしょうか。聖霊は、暗闇を照らし出す炎であり、奥深くに閉ざされた命に吹き込む風であり、人々を赦しと信頼で結びつける絆です。私たちは今、大きな時代の変化の只中にいます。世界の経済がいくら発展しても、モノやカネの豊かさだけでは人の心は満たされず、人の心の中にある敵意や憎悪や差別心は、なくならないということが明らかになっています。私たちの目の前にある壁は高く、困難は大きく、とても向こう側へは行けそうにない、もう諦めてしまおうかと思うような時もあります。しかし、そんな時でも私たちは決して一人ではありません。命と平和を求めてやまない神の霊が、聖霊が私たちと共にいて、私たちを命と平和へと至る道へと導かれます。暗闇の中にいる弱く小さくされている者たちの中にこそ、神の力は豊かに働くという聖書の言葉に信頼して、私たちは今日もここから神様と共に歩み出していきます。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook

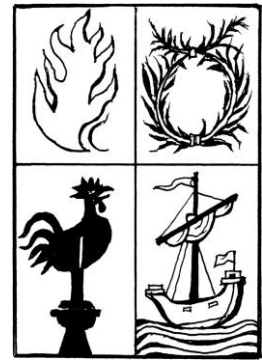


LINE 公式アカウント



◎ 先週の報告 6月12日花の日こどもの日・教会創立記念礼拝

主日礼拝出席 大人4名 中継動画再生数 9回
 献金 大人4,000円 感謝



◎次週 2022年6月26日(日) 聖霊降臨節第4主日礼拝

招きの詞 詩編 32編 1-2節

聖書 使徒言行録 16章 16-24節

メッセージ「本当に価値のあるもの」牛田匡牧師

賛美歌 21-511番(©教団)、21-402番(©教団)、21-514番(©P.D.)

礼拝はインターネットで中継配信いたします。礼拝の中で、今年度6月までにお生まれの方の誕生者祝福式を行います。また礼拝後には、釜ヶ崎支援のための「おにぎり作り」を行い、いこい食堂にお届けします。どなたでもご参加ください。

◎お知らせ

- ・新型コロナウイルス感染症の感染は依然として続いています。ご自身の感染予防のためにも、他人に感染させないためにも、教会堂に集まる形での礼拝にこだわらず、インターネットの中継配信を利用したご在宅での礼拝など、それぞれの方が参加しやすい形で礼拝にご参加ください。「週報」や「メッセージ(全文)」はホームページからダウンロードしていただくことができます。
- ・6月26日(日)13時半～、河内地区有志教会婦人会が、ZOOMを利用したオンラインの集まりとして開催されます。地区6教会の現状をお互いに聞きます。「おにぎり支援」の後、教会を会場にして参加して頂くことが可能です。どなたでもご参加ください。
- ・6月26日(日)14時～16時に「第12回慰霊の日に思いを馳せ、沖縄とつらなる集い『今、琉球弧の軍事要塞化を問う』」が、大阪クリスチャンセンターにて開催されます。参加費無料・申込不要です。インターネット配信も行われますので、ZOOMを利用での参加も可能です。参加を希望の方は当日右のQRコードもしくは、ミーティングID:83074468129とパスコード:828942を直接ZOOMに入力頂いて、ご参加ください。



第12回 慰霊の日に思いを馳せ、沖縄とつらなる集い

大阪教区 沖縄交流連絡・特別委員会

「今、琉球弧の軍事要塞化を問う」

1972年5月15日、沖縄の「日本復帰50年」の日。沖縄の人々は平和憲法下での復帰を望み、米軍基地の即時・無条件・全面返還を求めていました。沖縄戦において「捨て石」とされ、日本の独立の引き換えに 米軍施政下で27年の月日を通じ、軍備と戦争放棄を願っていました。しかし復帰の内実は沖縄の願いとは程遠く、沖縄がおかれている状況は好転どころか、未だ基地負担は重くのしかかっています。日本政府による集団的自衛権の行使容認、安保体制維持によって巨大な米軍基地が構えられ、戦も、海も、空も米軍に支配され、沖縄の人々は命の危険と隣り合わせの生活が強いられています。加えて台湾有事が構えられ、辺野古新基地建設と琉球弧における軍事要塞化、米軍との共同軍事訓練などが進み、再び沖縄が戦禍におかれるのではないかと不安が募っています。基地のない平和な沖縄と真逆な状況。これは沖縄の人々を犠牲にしてきたことに無関心であった「本土」に住むわたしたちの問題として問われていることです。今現在は、ロシアによるウクライナの軍事侵襲によって、更に世界情勢は先が見えません。

この度は、琉球弧における軍事要塞化反対運動に取り組んでこられた小西誠さんをお迎えし、6月23日の沖縄慰霊の日に思いを馳せて、わたしたちが平和をつくり出すために何をなさねばならないかを改めて考える時を持ちたいと思います。

講師 小西誠さん

プロフィール:元航空自衛官・ジャーナリスト・軍事評論家。中学を卒業して、すぐに少年自衛官に入隊。卒業後、空自佐渡基地に配属されるが、1970年安保対策として自衛隊で始まった治安出動訓練に反対し、自衛隊の民主化(人権・自由)を求めて1人で起ち上がり、自衛隊法違反で逮捕・起訴(同時に政治活動違反と命令違反で懲戒免職)。しかし、1975年、新潟地裁は無罪判決を下し、控訴審後の差し戻し審でも無罪・確定。以後、自衛隊内の民主化などの活動を継続2004年、「自衛官人権ホットライン」を創設し、事務局長に就任。以後、「自衛官人権ホットライン」を運営し、自衛隊員たちの人権相談を行う。軍事ジャーナリスト・社会批評家代表。

著書
『自衛隊の兵士運動:反戦兵士の闘い』(三一書房「三一書房」、1978)
『ミサイル攻撃基地化する琉球列島:日米共同作戦下の南西シフト』(社会批評社、2021年)

日時 2022年6月26日(日)午後2時～4時
 場所 大阪クリスチャンセンター1階ホール 及び 配信
 (大阪JR環状線の玉造駅から徒歩10分)

*米軍Xバンドレーダー基地反対・京都連絡会の方に状況報告をしていただきます。
 *参加費無料(沖縄教区互助献金として会場にてカンパを集めます)
 *配信はZoomにて行います。
 ミーティングID:83074468129 パスコード:828942
 こちらのQRコードからお入りください。
<https://us02.webex.com/j/83074468129?pwd=PDl0ZmZ0eU5XOjA9EoR8X8ueFhNzQf>
 *お問合わせ:06-6692-6492、又は070-5345-7378(大阪昭和教会 森口)

◎ 次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
6/26	牛田牧師	おにぎり支援・河内地区婦人会(ZOOM)
7/3	岡嶋伝道師	ユーカリスト?・教会を考える会?
7/10	牛田牧師	部落解放祈りの日
7/17	牛田牧師	聖書を読む会?